

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科目区分	その他	授業の方法	講義演習
科目名	地域療養を支えるケアマネジメント		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	3学年		学期及び曜時間	前期	教室名	新館2階・3階
担当教員	福崎 友和	実務経験と その関連資格	実務経験:地域医療連携室、医療相談室、地域包括支援センター、訪問看護 資格:看護師、社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員			
《科目目標》						
1. 地域・在宅生活を支えるケアマネジメントの展開方法の基本が理解できる。 2. 地域連携室、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所におけるケアマネジメントの役割が理解できる。 3. 療養者や家族が望む生活を実現するためのケアマネジメントの展開について事例検討できる。						
《成績評価の方法と基準》						
【評価方法】グループワークへの参加状況・課題レポート50%、終講試験50% 【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
ナーシンググラフィカ 在宅看護論① 地域療養を支えるケア メディカ出版 ナーシンググラフィカ 在宅看護論② 地域療養を支える技術 メディカ出版 ナーシンググラフィカ 健康支援と社会保障③ 社会福祉と社会保障						
《授業外における学習方法》						
事例について事前に読んでわからないところは調べ、事例の状況をイメージしておく。 毎回の学習については授業以外での準備学習の具体的な内容を参照する。						
《履修に当たっての留意点》						
社会福祉、社会制度論・成人老年看護学等で学んだ退院支援や多職種・多機関連携を取り入れながら在宅療養を支えるためのケアマネジメントについて考える。ケアマネジメントを考えるうえで5W1Hで制度の活用方法まで具体的に考え計画する。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	ケアマネジメントの考え方が理解できる		テキスト 配布資料	「在宅療養を支えるケア」p157～p178を読んで疑問に思うところは調べたり、講義で質問できるようにしてください。	
	各コマにおける授業予定	1) マネジメントの概念・ケアマネジメント過程 2) ケアマネージャーの役割 3) エコマップ、居宅サービス計画表 4) 高齢者虐待の理解 ※参照「社会福祉と社会保障」p190				
第2回	授業を通じての到達目標	「被虐待が疑われる認知症高齢者」が地域で生活を継続するためのケアマネジメントが考えられる①		テキスト 配布資料	「地域療養を支える技術」の「被虐待が疑われる認知症高齢者」p258～p260を読んで疑問に思うところは調べたり、講義で質問できるようにしてください。	
	各コマにおける授業予定	1) 「被虐待が疑われる認知症高齢者」が地域(豊中市)での生活を継続するために必要な支援を考える 2) 活用できる制度と手続き方法を調べる ※昼間独居の認知症高齢者の事例 個人ワーク				
第3回	授業を通じての到達目標	「被虐待が疑われる認知症高齢者」が地域で生活を継続するためのケアマネジメントが考えられる②		テキスト 配布資料	「被虐待が疑われる認知症高齢者」についての居宅サービス計画書を作成します。居宅サービス計画書を指定日時に提出。	
	各コマにおける授業予定	居宅サービス計画書(ケアプランの作成) ※「被虐待が疑われる認知症高齢者」の事例(個人ワーク)				
第4回	授業を通じての到達目標	「被虐待が疑われる認知症高齢者」のよりよいケアマネジメントが立案できる		テキスト 配布資料	個人で作成した居宅サービス計画書をもとにグループワークを実施。グループ内で居宅サービス計画書を見直し指定日時に提出。	
	各コマにおける授業予定	1) 個人ワークで作成した居宅サービス計画書をグループで共有 2) 意見交換を行いより良いケアマネジメントを検討する(GW)				
第5回	授業を通じての到達目標	神経難病の対象が地域で生活を継続するためのケアマネジメントが考えられる①		テキスト 配布資料	「地域療養を支える技術」の「在宅での生活に不安を抱きつつ退院するALS療養者」p267～p271を読んで疑問に思うところは調べたり、講義で質問できるようにしてください。	
	各コマにおける授業予定	1) 「在宅での生活に不安を抱きつつ退院するALS療養者」が地域(豊中市)での生活に必要な支援を考える 2) 活用できる制度と手続き方法を調べる ※「在宅での生活に不安を抱きつつ退院するALS療養者」の事例(個人ワーク)				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	神経難病の対象が地域で生活を継続するためのケアマネジメントが考えられる②	テキスト 配布資料	「在宅での生活に不安を抱きつつ退院するALS療養者」についての居宅サービス計画書を作成します。居宅サービス計画書を指定日時に提出。
		各コマにおける授業予定	居宅サービス計画書(ケアプランの作成) ※昼間独居の認知症高齢者の事例 個人ワーク		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	ALSの療養者のよりよいケアマネジメントが立案できる	テキスト 配布資料	個人で作成した居宅サービス計画書をもとにグループワークを実施。グループ内で居宅サービス計画書を見直し指定日時に提出。
		各コマにおける授業予定	1) 個人ワークで考えたケアマネジメントをグループで共有する 2) 意見交換を行いより良いケアマネジメントを検討する GW		
第8回		授業を通じての到達目標	各事例のケアマネジメント発表を通じ共有学習できる	テキスト 配布資料	発表までにグループでまとめておく。
		各コマにおける授業予定	・「被虐待が疑われる認知症高齢者」 ・「在宅での生活に不安を抱きつつ退院するALS療養者」 * 発表10分 質疑応答5分		
第9回		授業を通じての到達目標	暮らしの中での看護の役割が理解できる	テキスト 配布資料	「地域療養を支えるケア」p59～p66を読んで、自分が看護師として地域に出たときどんなことをしたいかをケアマネジメントの視点でレポートにまとめ指定された日時に提出
		各コマにおける授業予定	病院や地域などでの看護の役割について学習し、自分なりの考えを持つことができる		
第10回		授業を通じての到達目標	ケアマネジメントについて振り返る		※この回は終講試験を行います。授業内での振り返り内容や事例をもとに、看護の視点を思い出して試験に臨んでください。
		各コマにおける授業予定	まとめ＋終講試験		